

# あなたの足の腫れや痛み 静脈の病気かもしれません

足の腫れや痛みなどの症状には  
様々な原因がありますが、  
静脈の病気が  
隠れていることがあります。

このパンフレットを読んで  
お心当たりがある場合は、  
医師に相談してみましょう。



監修：

太田記念病院 循環器内科 安齋 均 先生  
大阪けいさつ病院 循環器内科 藤原昌彦 先生

# 静脈のはたらきについて



わたし達のからだを流れる血液は、「動脈」や「静脈」を通して全身を循環しています。

「動脈」は、心臓から酸素や栄養を含んだ血液をからだ中に送り出し、「静脈」は、全身で使われた血液を心臓へ戻すと同時に身体の老廃物を回収する働きをしています。

「静脈」には「表在静脈」と「深部静脈」とがあります。「表在静脈」は皮膚のすぐ下にあり、主に皮膚や脂肪組織からの血液を心臓へ戻します。

一方、「深部静脈」は太ももやふくらはぎの筋肉の中を走る太い血管で、足の血液の多くを心臓に戻しています。何らかの原因で、深部静脈の血液の流れが妨げられると、足の痛みや腫れ、その他の症状を引き起こすことがあります。

## こんな症状はありませんか?... 医師に相談してみましょう

### ✓ 足のむくみ、腫れ

※片側だけに症状がでることも  
あります



### ✓ 立ったときや、 歩行時の足の痛み

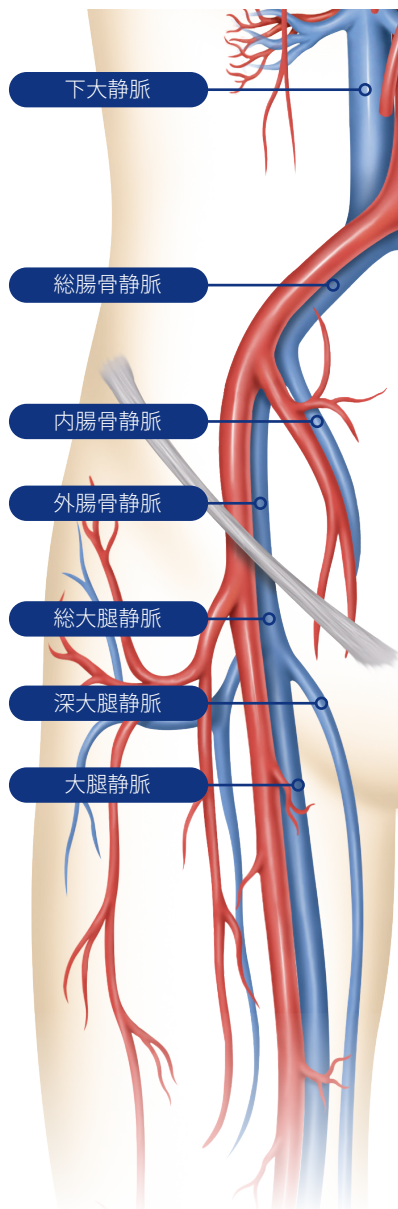


### ✓ 足の色調変化

### ✓ 長く治らない皮膚の潰瘍

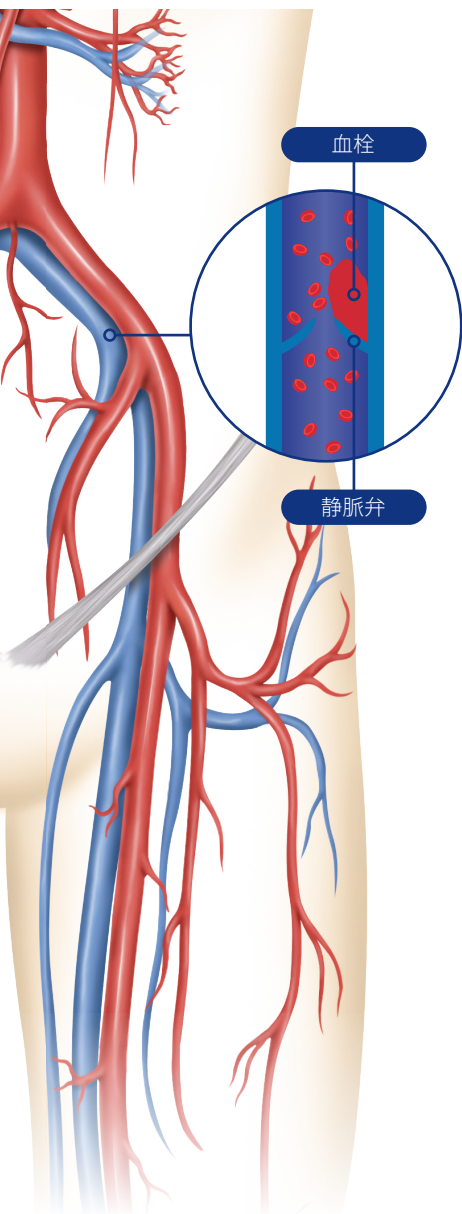


これらの症状は、同時に見られることも  
多くあります





# 深部静脈の病気とは？



## ☑ 深部静脈血栓症 (DVT)

太ももやふくらはぎ、骨盤の中を走る深部静脈に血の塊（血栓）ができて血液の流れを妨げてしまう病気です。無症状の場合も含めると、日本で年間約 15,000 名の方が発症しているとされています<sup>1)</sup>。

深部静脈血栓症は、足の腫れや痛みなどの症状を伴うだけでなく、血栓が足の静脈から肺に流され、肺塞栓症という重篤な病気につながる可能性がありますので、早期に受診して適切な治療を受けることが大切です。

## 適切な治療を受けないと...

### ☑ 肺塞栓症

急性期の合併症で、血栓が肺に移動し、肺動脈が詰まる病気です。迅速な治療を行わないと命にかかります。

### ☑ 血栓後症候群 (PTS)

深部静脈血栓症の後、血栓が残っていたり、静脈弁が壊れ血液が逆流する状態が続いたりすることで、慢性的に静脈の血液の流れが滞ってしまう後遺症です。

足の痛みや腫れ、潰瘍など、不快な症状により日常生活に影響が出ることがあります。

# 主な発症のきっかけは何ですか？



- ✓ 長時間動かない状態が続いたとき（車や飛行機での長時間の移動、デスクワークなど）
- ✓ 手術後で安静が必要な期間・入院・寝たきりの状態の方
- ✓ がんの治療中の方
- ✓ 妊娠している方
- ✓ 肥満の方
- ✓ 喫煙中の方
- ✓ 遺伝的に凝固障害がある方
- ✓ 経口避妊薬やホルモン剤を服用している方
- ✓ 以前深部静脈血栓症をおこしたことがある方

はっきりした原因がわからないことも多いため、気になる症状があれば、受診しましょう。



# どのような検査を行いますか？

深部静脈の病気の診断にあたっては、次のような検査が行われます。

## ✓ 問診・診察

まずは医師による症状についての質問、触診等の診断を行います。

## ✓ 血液検査 (D ダイマー検査)

血液成分を調べることで血栓があるかどうかを調べます。

## ✓ 超音波検査

脚、骨盤、腹部 (可能な場合) の静脈を音波で画像化する検査です。

## ✓ コンピュータ断層撮影 (CT)

骨盤内および腹部静脈を観察するため、血栓の位置を特定するには CT スキャンなどの非侵襲的検査が必要となる場合があります。



# どのような治療がありますか？



症状の改善、血栓の広がりや再発の予防、肺塞栓症の予防、後遺症の軽減を目標に、患者さんの状態にあわせて、次の治療が組み合わせて行われます。



## 薬物療法

主に抗凝固薬による治療



## 圧迫療法

足を圧迫する弾性ストッキングなどを着用して血液の流れを良くする治療



## 外科的治療

足の静脈を切開して先端に風船のついたカテーテルで血栓を血管の外に出す治療



## カテーテル治療

足の静脈にカテーテルという細い管を挿入して血栓を直接吸引・捕捉したり、ステントという血管が細くなった部位に筒状の金属を留置する治療



## Q 予防法はあるのでしょうか？

A 健康的な体重の維持や運動習慣などは静脈疾患リスクを軽減する可能性がありますので医師に相談してみてください。

## Q どの診療科に行けばよいですか？

A 静脈疾患は主に循環器内科、血管外科が治療をおこなっています。まずは、かかりつけ医にご相談ください。

## Q 治療で手術が必要になるのはどのようなときですか？

A 多くの場合は、薬による治療や圧迫療法で改善しますが、強い痛みが続いたり、皮膚に潰瘍がみられたりする場合には、血流を回復させる治療が必要になることがあります。カテーテルを用いた短期間の入院でできる痛みや体への負担が少ない治療もありますので、日常生活に困るような症状が続く場合は、医師に相談してみてください。

足の症状で日常生活に支障があることを主治医に伝えて治療の相談をしてみましょう。

# まずは医師にご相談ください

足の腫れや痛みなどの症状には様々な原因がありますが、  
静脈の病気が隠れていることがあります。

このパンフレットを読んでお心当たりがある場合は、  
医師に相談してみましょう。



\*1 難病情報センターウェブサイト <https://www.nanbyou.or.jp/entry/1348>

株式会社メディコン

[bd.com/jp/](https://bd.com/jp/)

BD, the BD Logo and all other trademarks are trademarks of Becton, Dickinson and Company or its affiliates.  
© 2026 BD. All rights reserved.  
BD-168316

